【参考例】（さいたま市）**障害者虐待リスクアセスメント・チェックシート**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏 名 |  | 担当者・機関 |  | 評定年月日 | 　　年　　月　　日 |
| Ⅰ．虐待の程度　　（「状況」欄：該当する…○、疑い…△、不明…？） |
| 　Ⅰ－１　現在の虐待の状況  | 状況 | 特記事項 |
| 最　重　度 | 身体的虐待 | 身体のいずれかの部位に、入院を必要とする外傷・骨折・火傷がある |  |  |
| 健康に有害な食物や薬物を与えられている |  |  |
| 本人の自殺企図 |  |  |
| 一家心中（未遂を含む） |  |  |
| 四六時中、ベッドや部屋に拘束・監禁されている |  |  |
| 法定の労働安全・衛生の遵守されていない職場で働かされている |  |  |
| ネグレクト | 脱水・栄養不足による衰弱がある |  |  |
| 潰瘍や褥瘡が悪化している |  |  |
| 口腔内の出血・腫れ |  |  |
| 治療中の服用薬を飲んでいない、飲ませてもらえない |  |  |
| 生命にかかわる医療拒否がある（宗教やオカルトを理由する場合を含む） |  |  |
| ライフラインがすべて止まっている |  |  |
| 性的虐待 | 性行為・わいせつな行為を強要されている |  |  |
| 性風俗業で働くことを強要されている |  |  |
| 性感染症に罹患している |  |  |
| 経済的虐待 | 本人名義の預貯金・資産が家族・他者に不当に流用・処分されている |  |  |
| 悪徳商法の業者に多額の金銭を巻き上げられている |  |  |
| 最低賃金以下で働かされている |  |  |
| 重 度 | 身体的虐待 | 身体のいずれかの部位に、通院を必要とする外傷・骨折・火傷がある |  |  |
| 外出・通信が著しく制限されている |  |  |
| ネグレクト | 著しい体重の増減がある |  |  |
| 偏食・不衛生・不眠によって健康に明らかな問題がある |  |  |
| 家族と同居しているが、実質的な世話・介護者はいない |  |  |
| 必要な福祉サービスを受けることができない |  |  |
| 必要な医療を受けることができない |  |  |
| 医療機関の指示と異なる服薬調整が行われている |  |  |
| 本人が家出・徘徊をしても放置するか、無関心である |  |  |
| 心理的虐待 | 家族の自殺企図 |  |  |
| 家族や身近な人から本人の意向にそぐわない宗教・オカルトを強要される |  |  |
| 性的虐待 | 性的ないやがらせ、はずかしめを受けている |  |  |
| 障害を理由に、他者が交際する異性との関係を引き裂く |  |  |
| 経済的虐待 | 本人名義の預貯金・資産が本人の了解なく家族・他者に管理されている |  |  |
| 遺産相続等で差別的な扱いを受けている |  |  |
| 悪徳商法の業者に接近されている |  |  |
| 中 度 | 身体的虐待 | 通院を必要とするほどではないが、治療の必要な外傷・火傷がある |  |  |
| 繰り返し傷・あざがある |  |  |
| 外出・通信が自由にできない、行事への参加を制限されている |  |  |
| ネグレクト | 健康問題につながる可能性のある偏食や不衛生等、衣食住の不適切さがある |  |  |
| 必要な医療を受けることを制限されることがある |  |  |
| 必要な福祉サービスの利用を制限されることがある |  |  |
| 本人がしばしば欠席・欠勤していても連絡をしてこないか、無関心である |  |  |
| 心理的虐待 | 無視・暴言・乱暴な扱い・締め出し・懲罰的な扱いによって情緒的問題が出ている |  |  |
| 必要な医療・福祉サービスの内容を周囲が勝手に決める |  |  |
| 養護者から強い拒否感の訴えがある |  |  |
| 性的虐待 | 障害を理由に、他者から異性との交際を禁じられている |  |  |
| 他者から窃視や不自然なアプローチを受けている（関係妄想と区別する） |  |  |
| 経済的虐待 | 「小遣いがあまりもらえない」と訴える |  |  |
| 周囲の人間からお金をたかられている |  |  |
| 軽 度 | 身体的虐待 | 治療の必要はない程度の外傷がある |  |  |
| 養護者から暴力を振るってしまうとの訴えがある |  |  |
| ネグレクト | 健康問題がただちに生じるほどではないが、衣食住の不適切さがある |  |  |
| 本人・周囲ともに必要な医療や福祉サービスの内容を考えることができない |  |  |
| 心理的虐待 | 無視・暴言・乱暴な扱い・締め出し・懲罰的な扱いを受けている |  |  |
| 家族の間にけんかや争いごとがしばしば起きる |  |  |
| 養護者から拒否感の訴えがある |  |  |
| 　Ⅰ－２　過去の不適切な状況 | 状況 | 特記事項 |
| 重 度 | 虐待による入院歴、分離保護歴がある（子ども期を含む） |  |  |
| ＤＶによる入院歴、分離保護歴がある |  |  |
| 子ども期からずっと必要な支援を受けていない |  |  |
| 性的虐待を被った経験がある |  |  |
| 性風俗業で働いた経験がある |  |  |
| 中 度 | 虐待による通院歴がある |  |  |
| 不安定な性的交友関係の継続的経験がある |  |  |
| 本人以外の家族に、ＤＶや虐待による入院歴、分離保護歴がある |  |  |
| 軽度 | 虐待の通告歴がある |  |  |
| 本人以外の家族に、ＤＶや虐待による通院歴がある |  |  |
| 　Ⅰ－３　本人と虐待者の距離・パワーバランス | 状況 | 特記事項 |
| 本人と虐待者は同居 | 虐待者は一人（身近に虐待を抑止できる人が：いる　 いない） |  |  |
| 虐待者は複数（身近に虐待を抑止できる人が：いる　 いない） |  |  |
| 本人と虐待者は日中のほとんどを共有 | 虐待者は一人（身近に虐待を抑止できる人が：いる　 いない） |  |  |
| 虐待者は複数（身近に虐待を抑止できる人が：いる　 いない） |  |  |
| 虐待者とはたまに会う関係 | 虐待者は一人（身近に虐待を抑止できる人が：いる　 いない） |  |  |
| 虐待者は複数（身近に虐待を抑止できる人が：いる　 いない） |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 各項目に現れない特記事項 |  |
|  |
| 評　定 |
| Ⅰ-１ 現在の虐待の状況 | 最重度　　　　　重度　　　　　中度　　　　　軽度　　　　　問題なし | 不明 |
| Ⅰ-２ 過去の不適切な状況 | 　　　　　　　　重度　　　　　中度　　　　　軽度　　　　　問題なし | 不明 |
| Ⅰ-３ 距離･パワーバランス | 虐待は抑止できない　　 工夫次第で抑止可能　　 虐待は抑止できている | 不明 |
| Ⅰ．虐待の程度 | 最重度　　　　重度　　　　中度　　　　軽度　　　　問題なし | 不明 |

|  |
| --- |
| Ⅱ．本人の状況　　　　　　　　　　　　　　　　（「状況」欄：該当する…〇、疑い…△、不明…？） |
| Ⅱ－１　現在の状況　　該当する項目に○、疑いのある項目に△、（　）内は具体的補足 | 状況 | 特記事項 |
| 身体状況 | 低体重　　肥満　　栄養不良　　衰弱 |  |  |
| 外傷　火傷　痣（部位：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |  |
| 虫歯　口腔内疾患（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |  |
| 褥瘡　皮膚疾患（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |  |
| 性感染症（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |  |
| その他の疾患（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |  |
| 生活状況 | 不潔　異臭　口臭　髪のべたつき　ふけ　あかぎれ　しもやけ |  |  |
| 大食い　盗み食い　偏食 |  |  |
| 睡眠リズムの乱れ　不眠　睡眠不足 |  |  |
| 情緒 | 攻撃的　衝動的　怒り　乱暴（ 他者に　動物に ） |  |  |
| 怯え（顔色をうかがう　人を恐れる　視線をそらす　おどおどする） |  |  |
| 抑うつ（表情が乏しい　マスクをかぶったような笑い） |  |  |
| とじこもり　ひきこもり |  |  |
| べたべた甘える |  |  |
| （家　職場　施設　その他　　　　　　　　　）のことを話したがらない |  |  |
| アディクション（嗜癖・依存） | アルコール　麻薬・覚せい剤　その他の薬物（　　　　　　　　　　　　） |  |  |
| ギャンブル　買い物　異性関係 |  |  |
| 反社会的・脱社会的行動 | 希死念慮　自殺企図 |  |  |
| 家出の訴え　家出企図　徘徊 |  |  |
| 万引き　窃盗 |  |  |
| 不純異性交遊 |  |  |
| 社会生活上の問題 | 通勤・通所の不安定（欠勤・欠席　遅刻　早退） |  |  |
| 孤立（家　職場　施設等　その他　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |  |
| Ⅱ－２　リスク要因　　該当する項目は○、疑いのある項目は△、（　）内は具体的補足 |  |  |
| 主たる障害以外の病歴 | 疾病名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・　　　　　歳頃） |  |  |
| 疾病名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・　　　　　歳頃） |  |  |
| 疾病名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・　　　　　歳頃）　 |  |  |
| 現在の養護者との別居歴（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |  |
| 現在の配偶者との別居歴（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 各項目に現れない特記事項 |  |
|  |
| 評　定 |
| Ⅱ-１　現在の状況 | 　　　重度　　　　　中度　　　　　軽度　　　　　問題なし | 不明 |
| Ⅱ-２ リスク要因 | 　　　　重度　　　　　中度　　　　　軽度　　　　　問題なし | 不明 |
| Ⅱ．本人の状況 | 　　　重度　　　　　中度　　　　　軽度　　　　　問題なし | 不明 |

|  |
| --- |
| Ⅲ．虐待者の状況　　　　　　　　　　　　　　　（「状況」欄：該当する…〇、疑い…△、不明…？） |
| Ⅲ－１　現在の状況　　該当する項目に○、疑いのある項目に△、（　）内は具体的補足 | 状況 | 特記事項 |
| 疾患・障害の有無 | 認知症　足腰の弱り |  |  |
| 精神疾患・精神障害（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |  |
| 身体障害　知的障害　発達障害 |  |  |
| その他の疾患（　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　） |  |  |
| 情緒・性格 | 攻撃的・暴力的・威圧的言動 |  |  |
| 衝動的　感情の高ぶりを抑制できない |  |  |
| 強迫的・束縛的言動（○○しなさい、○○でなければならない） |  |  |
| 認知の歪み（自分勝手な受けとめ方・思いこみ・自分の考えへの強い執着） |  |  |
| 共感性の欠如（相手の気持ちや立場を理解できない） |  |  |
| 孤立　非社会的　対人関係の困難が高い |  |  |
| アディクション（嗜癖・依存） | アルコール　麻薬・覚せい剤　その他の薬物（　　　　　　　　　　　　） |  |  |
| ギャンブル　買い物　異性関係 |  |  |
| 反社会的・脱社会的行動 | 希死念慮　自殺企図 |  |  |
| 家出企図　徘徊 |  |  |
| 万引き　窃盗 |  |  |
| 福祉サービスの利用・介入に拒否的である |  |  |
| 本人との親密さ・関係性 | 拒否（嫌悪する　排除する　厄介者扱い　他の者との差別） |  |  |
| 諦観（本人のことを腐れ縁、自立できない人間とあきらめている）　 |  |  |
| 無関心（注意を向けない） |  |  |
| 支配・執着（思いどおりにコントロールしようとする） |  |  |
| 過度の要求（強迫的な課題・役割の押しつけ） |  |  |
| 依存（ひたすら本人のために献身していないと不安になる） |  |  |
| 虐待の認識 | 否定（していない、知らない、本人の不注意・責任だと言い張る） |  |  |
| 正当化（行為の事実は認めるが、しつけであると本人の問題を指摘する） |  |  |
| 同居者・同僚・身近な人の態度 | 同調（虐待行為を容認し加担する） |  |  |
| 黙認（虐待行為を知っているが、止めさせようとしない） |  |  |
| 観客（虐待行為を容認し、面白そうに見ている） |  |  |
| 回避（虐待行為の事実そのものに気づかないふりをする） |  |  |
| Ⅲ－２　リスク要因　　該当する項目は〇、疑いのある項目は△、（　）内は具体的補足 |  |  |
| 被虐待・被ＤＶ歴 | 誰から（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・　　　　　歳頃） |  |  |
| 誰から（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・　　　　　歳頃） |  |  |
| 虐待・ＤＶ歴 | 誰に（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・　　　　　歳頃） |  |  |
| 誰に（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・　　　　　歳頃） |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 各項目に現れない特記事項 |  |
|  |
| 評　定 |
| Ⅲ－１　現在の状況 | 　　　　重度　　　　　　中度　　　　　　軽度　　　　　　問題なし | 不明 |
| Ⅲ－２　リスク要因 | 　　　　重度　　　　　　中度　　　　　　軽度　　　　　　問題なし | 不明 |
| Ⅲ．虐待者の状況 | 　 　　重度　　 　　　中度　　　　 　軽度　　　　 　問題なし | 不明 |
| Ⅳ．家族の状況　　　　　　　　　　　　　　　（「状況」欄：該当する…〇、疑い…△、不明…？） |
| Ⅱ-１　現在の状況　　該当する項目に○、疑いのある項目に△、（　）内は具体的補足 | 状況 | 特記事項 |
| 家族関係 | 高い感情表出を伴う関係　・批判的・干渉的コメントが多い　・けんか腰や敵意ある相互の言動が目立つ　・大きな感情のもつれ・感情の巻き込みが多い |  |  |
| 束縛的なルールの強制　・外出・通信の制限　・柔軟性と合理性にかける家庭内役割の強制 |  |  |
| ひとり親家庭 |  |  |
| 内縁者の同居・出入り |  |  |
| 経済的問題 | 失業中（求職中　就職をあきらめている　求職の意志はない） |  |  |
| 不安定就労（不定期就労　日々雇用　休職中） |  |  |
| 多額の負債 |  |  |
| 光熱水費・電話代・家賃の滞納 |  |  |
| 本人の障害年金が家族の生計費に重みをもっている |  |  |
| 準要保護　生活保護（申請中　受給中） |  |  |
| 生活環境 | 不衛生（異臭、室内にゴミ散乱） |  |  |
| 家事が実質的に営まれていない（食事、洗濯、入浴、掃除） |  |  |
| 関係機関の受け入れ | 拒否・抵抗（接触を拒む、電話・訪問に応じない、根深い不信） |  |  |
| 接触困難（連絡が取れない、応答がない） |  |  |
| 社会的孤立（近隣や友人、当事者組織との交流がない） |  |  |
| 関係改善の媒介者 | 本人と虐待者との関係改善を媒介できる第三者の存在（あり：親族　知人、なし） |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 各項目に現れない特記事項 |  |
|  |
| 評　定 |
| Ⅳ．虐待者の状況 | 　　　重度　　　　　中度　　　　　軽度　　　　　問題なし | 不明 |

評定シート

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 |  | 評定協議した機関・チーム |  |
| 評定日 | 　　年　　月　　日 |  |

※評定は単独の支援者によるものではなく、虐待対応チームまたは支援機関（支援課、障害者生活支援センター、虐待対応チーム等）が組織的に協議して実施すること

|  |
| --- |
| Ａ．事実確認の経過記録 |
|  | 　　実施年月日 |  　実施機関 | 担当者氏名(必ず複数) | 　　 方　法 |
| 最初の安全確認 | 　　年　 月　 日 |  |  |  |  |
| 事実確認　① | 　　年　 月　 日 |  |  |  |  |
| 事実確認　② | 　　年　 月　 日 |  |  |  |  |
| 事実確認　③ | 　　年　 月　 日 |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| Ｂ．最終評定 |
| Ⅰ．虐待の状況 | 最重度　　　　　重度　　　　　中度　　　　　軽度　　　　　問題なし | 不明 |
| Ⅱ．本人の状況 | 重度　　　　　中度　　　　　軽度　　　　　問題なし | 不明 |
| Ⅲ．虐待者の状況 | 重度　　　　　中度　　　　　軽度　　　　　問題なし | 不明 |
| Ⅳ．家族の状況 | 重度　　　　　中度　　　　　軽度　　　　　問題なし | 不明 |
| 介入の緊急度 | 非常に高い　　　 やや高い　　　 状況の推移次第　　　 やや低い　　　　 低い(取り急ぎ介入)　　 (落ち着いて介入)　　　 (様子を見て介入)　　(あまり介入の必要はない) 　(介入は不要) |
| 支援の必要度 | 本　人 | 非常に高い　　　 やや高い　　 　ターゲットを絞った支援の必要　　 通常の支援(全面的な多くの支援)　　　(多くの支援)　　　　　　　　(部分的でインテンシヴな支援)　　　　　　(通常支援の範囲内) |
| 家　族( 　 ) | 非常に高い　　　 やや高い　　　 ターゲットを絞った支援の必要　　 通常の支援(全面的な多くの支援)　　　(多くの支援)　　　　　　　　(部分的でインテンシヴな支援)　　　　　　(通常支援の範囲内) |

|  |
| --- |
| Ｃ．支援の利用状況 |
|  |

|  |
| --- |
| Ｄ．虐待対応チーム |
| ケースマネジメント機関 |  |
| 現在の虐待対応チームの構成 |  |
| 新たに加えるべき機関 |  |

|  |
| --- |
| Ｅ．当面する支援の重要課題 |
| 順位 | 支援課題 | 　　　　　　　　　対応方法 |
|  １ |  |  |
|  ２ |  |  |
|  ３ |  |  |